

会 議 録

会議の名称	第18期東村山市社会教育委員会議(第15回)				
開催日時	平成22年10月22日(金)午後7時00分～9時00分				
開催場所	東村山市役所いきいきプラザ4階 教育委員会室				
出席者 及び欠席者	<p>出席者:</p> <p>(委員)神谷・桑原・小林・小山・島崎・土田・當間・森・吉井・吉満 敬称略</p> <p>(市事務局)社会教育課長 神山・生涯学習係主任 野沢・生涯学習係主事 野崎</p> <p>欠席者:(委員)なし</p>				
傍聴の可否	傍聴可能	傍聴不可の場合はその理由	/	傍聴者数	なし
会議次第	<p>1.あいさつ</p> <p>2.報告事項</p> <p>(1)平成22年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第4ブロック研修会について</p> <p>(2)青少年問題協議会(第2回)について</p> <p>(3)使用料等審議会について</p> <p>3.協議事項</p> <p>(1)今期研究テーマ提言書の概要について</p> <p>4.その他</p> <p>(1)第17回会議日程について</p> <p>(2)「地域教育フォーラム」の開催について</p> <p>5.閉会</p>				
問い合わせ先	<p>教育部社会教育課生涯学習係</p> <p>担当者名 神山・野沢・野崎</p> <p>電話番号 042-393-5111(内線3513)</p> <p>ファックス番号 042-397-5431</p>				

会 議 経 過

1.あいさつ

議長

今期研究テーマ提言書の体裁が大方まとまってきたので、前回に引き続き、本文の検討をしていきたい。皆さんの積極的な発言をお願いしたい。

課長

市の行事が多く開催される時期となった。当課が所管する市民文化祭や青少年健全育成大会もそれぞれ10月、11月に開催される。お時間のある方はぜひ足を運んでいただきたい。

## 2. 報告事項

### (1) 平成22年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第4ブロック研修会について

#### A委員

10月8日(金)午後2時より西東京市防災センターで開催され、本市より委員5名、事務局職員2名が参加した。まず、事例発表として「しらうめネットワーク」(保谷一小地域安全連絡会)及びけやき小学校施設会報運営協議会の活動報告があった。犬の散歩をしている人に地元の小学生の見守りを呼び掛けるなど、独自の方法で防犯に取り組んでいるのが興味深かった。後半は、本市社会教育委員で東京家政大学准教授の白木賢信氏による講演「これからの社会教育のための地域ネットワークづくり」が行われた。

### (2) 青少年問題協議会(第2回)について

#### B委員

10月7日(木)に開催された。11月20日開催の「青少年健全育成大会」、来年2月6日開催の「市民の集い」について協議、検討が行われた。今年度の青少年善行表彰対象者は5名となった。小平保健所長より、今年もインフルエンザの流行に注意するよう注意があった。また、市内の数か所に違法植物が生えていることが判明し、見つけた場合、直ちに保健所か警察に通報していただきたいとの報告があった。

### (3) 使用料等審議会について

#### C委員

10月5日(火)に開催された。市立共同利用工場施設使用料の不況対策特例継続について協議したところ継続が決定した。10月22日付で市長に答申を出した。

## 3. 協議事項

### (1) 今期研究テーマ提言書の概要について

#### 議長

前回会議で皆さんに出して頂いた意見を基に新たな検討資料を作成し、事前にメール等で送付し、内容を確認していただいたところである。提言書の体裁および本文の具体的な内容について引き続きご意見をいただきたい。

#### A委員

役員の世代交代について言及されているが、任期について「最長 年」という説明が必要ではないか。さもないと「留任はいけない」という解釈もできてしまう。ある時期がきたら若い人にバトンタッチを呼び掛ける提言のほうがよいと思う。

#### B委員

世代交代が進まない原因として、組織が役員の居場所になってしまっている傾向があると思う。自分本位ではなく、組織全体を考えていけば若い人の活躍が増えるのではないか。

C 委員

できるだけ自分が責任を負いたくないという思いから、新たな役員の担い手が減ってきている傾向があると思う。また、新しく転入した人が、地域の輪に入っていけないなど、地域によってつながりの格差が生じているのも事実である。

D 委員

本文では社会教育実態調査に協力して下さった方の目線で提言すべきである。断言調にしてしまうと「なぜそこまでやらなきゃいけないのか」というニュアンスにとられてしまう。

E 委員

柱立てを確認したところで、全体のバランスを精査したほうがよい。特に本文冒頭の「考え方」の項目は、起承転結の「起」の部分なので、もっと簡潔にまとめたほうがよいと思う。

C 委員

アンケート協力団体については具体的な団体名を掲載しない方がよいと思う。しかし、表題に「アンケート調査結果から読み解く」とあるので、調査結果の分析はすべきである。

F 委員

「団体によるまちの活性化」の項目の中で「団体活動の評価をする必要がある」という文言があるが、悪い評価をされるのは団体が納得しないのではないか。また、評価をする主体がはっきりわからない。

A 委員

実態を明確に示した上で提言をするという流れがよい。提言なら、評価をするのではなく「～が求められる」という表現が適当ではないか。

G 委員

「全国的に見れば～という傾向があるが、本市でも同じことが散見される。」という表現の方が客観的で説得力もあると思う。」

H 委員

「組織としての広がり」の項目の中で若い世代の育成について触れているが、役割を分担させるという具体例も挙げたほうがよい。

副議長

「団体に期待すること(役割)」と「団体によるまちの活性化」は内容が共通しているので、同じ項目にまとめたほうがよい。

議長

従来作成した提言書はどのように公開しているのか。

事務局

社会教育課窓口で市民に配布しているほか、市のホームページに掲載したり、図書館で閲覧用に設置したりしている。その他、資料として市内の社会教育施設および他市町村の社会教育委員会議事務局に1部ずつ送付している。

E 委員

提言書は公民館でも閲覧可能にすべきではないか。

F 委員

アンケートに協力していただいた団体にも提言書を送ったほうがよいと思う。

## 議長

提言書の公開及び配布方法については今後の会議の中で検討していきたい。今回、皆さんにいただいたご意見をもとに、次回も引き続き本文を精査していきたい。次回会議までに表現等で改めるべき箇所等があったら細かい事項でも事務局へ報告していただきたい。

## 3. その他

### (1) 第17回会議日程について

- ・第17回会議 平成22年12月14日(火)午後7時～教育委員会室  
全委員の承認により上記日程で開催することが決定

### (2) 「地域教育フォーラム」の開催について

- ・日時 平成22年11月27日(土)  
午後1時30分から4時30分まで
- ・会場 杉並区社会教育センター(セッション杉並)  
参加を希望される方は事務局へご連絡いただきたい。

## 5. 閉会